

FUJIEDA ROTARY CLUB
Weekly Bulletin
 事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321



心岳寺のボケの花
 写真提供：鈴木舜光君

会長：鈴木廣利 副会長：村松英昭 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功

第1659回



2005-2006年度 RIテーマ
超我の奉仕
 カール・ヴァルヘルム・ステンハマー

<ソング> 四つのテスト
 <ソングリーダー> 増田 國衛君

会長挨拶 鈴木 廣利君

北日本中心に移動性高気圧に日本中がつつみ込まれた状態でここ2～3日は非常に暖かい日が続きました。立春から一ヶ月が過ぎそろそろ本格的な春が訪れる頃となりました。

さて、今は確定申告真っ盛りの時期ですが、皆様はおすみになったでしょうか？と同時に3月といえますと引越しの一番多い季節でもあります。単身赴任者が自宅に戻る時、(私も過去に経験がありますし、当クラブでも何名かの方が単身赴任の経験者です)今まで使っていた小型冷蔵庫、テレビ、洗濯機には困ってしまいます。家に持ち帰っても粗大ゴミになる事は確かだし、置いて行く事も出来ない。今までは必要な人にあげたり、後輩にくれたり、知り合いに使っていただいたり、中古屋に売って多少の小遣いにしたこともありましたが、しかし現在では引き取り先がなくなってしまったのです。

そんな時便利な店が中古家電を買い取ってくれるリサイクルショップ。自己処分すると有償になるが、買い取ってもらえば多少だが身入りもあります。しかし中古家電販売には5年前施行された電気用品安全法というものがあります。例の「PSEマーク」です。これは安全確認済の印であり、このマークが着いていなければ中古品でも売買は出来ません。この法律が出来る以前の製品には5～10年の販売猶予期間が設けられていたが、それがこの3月末で期限切れになります。

しかしながら、現代は「リサイクル循環型社会」

が形成されており、時代に逆行すると云う意味で、すこぶる評判が悪くなっております。特に音の出る蓄音機やステレオ等は昔の製品に値の良いものがたくさんあります。大量生産、大量消費の時代とは云いますが、いつまでも続いているわけはありません。

このような事に一抹の不安を憶えるのは私だけでしょうか。今日はリサイクル法の施行についてお話をしてみました。

幹事報告 松葉 隆夫君

・ねんりんピック静岡2006 藤枝市実行委員会 第2回総会の開催のお知らせが藤枝市実行委員会より届いております。

平成18年3月30日(木)

藤枝市役所西館5F大会議室

・藤枝子どもと本をつなぐ会通信 NO27が届いております。

・FIFS NEWS No75が藤枝市国際友好協会より届いております。

出席報告 後藤 功君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
30 / 41 73.17%	32 / 41 78.05%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 岩崎君 ○飯塚君 ○仲田廣君 ○村松宏君
 浅川君 板倉君 桜井富君 鈴木晶君 鈴木舜君
 仲田晃君 望月志君

ビジター

寺島 弘君 (藤枝南)

スマイルBOX 後藤 功君

・結婚記念のお祝いありがとうございました。あれから30年、綾小路きみまるじゃないけれど、うちのかみさんも見事に变身してしまいました。残念です。 前島 章男君

・妻と結婚して満43年が経ちました。二人はそれなりに年を取り老人の域に入りましたが、元気で暮らしています。ありがとうございます。 水野 義猛君

・家内誕生日へのお祝いに感謝します。

金婚式を終え結婚暦51年永い様ですが幸せを感じています。 江崎 友次郎君

スマイル累計額 605,000円

委員会報告

会員増強委員長 小西 啓一君

<会員増強・退会防止>

あなたのクラブの評価 会員用アンケートのお願い
来週の例会時まで提出して下さい。

外部卓話

NPO法人
藤枝お茶事の村
堀田一牛様



『藤枝お茶事の村』

お茶とまちづくりを目指すNPO法人です。

【活動目標】

- ・ 市民が「山のお茶」の生産と流通を応援し、これからの人々の生活に役立つ個性的な茶業が育つように私たちはNPO活動します。
- ・ ふじえだ「歴史の街」の資源を活かし賑わいをもう一度、美しく再生していくように私たちはNPO活動します。
- ・ 大井川水系の里山・街・海辺の一角を次世代の活気ある生活の舞台とするために、国内外からの交流人口であふれるように、私たちはNPO活動します。

【NPO法人「藤枝お茶事の村」は・・・】

“私たちは、これからも自分のふるさとに自信と誇りを持って暮らしたい”

藤枝そして大井川水系の地域が日本と世界から多くの人々が集まり、交流し活動する舞台となることを願います。そのために、これまでの行政や企業とは一味違う方法つまり市民のネットワークを特色とする地域・町づくり活動を展開します。先人から受け継いだ自然・歴史・文化の資源を発見し、育て、楽しみながらゆっくり続けます。どうぞ一緒にやっていきませんか。

(担当 / 成瀬)